

コンプライアンス

ユニー・ファミリーマートホールディングスは、消費者の皆様に安全・安心な商品を提供していくため、グループが一体となりコンプライアンスの徹底に取り組んでいます。

基本的な考え方

持続可能な社会の形成に向けて、企業は直面する社会課題に向き合い、統制の取れた活動と適切な情報開示を通じて、経営の透明性を高めていくことが求められています。ユニー・ファミリーマートグループは、地域社会からの信頼を得て「地域密着経営」を実践していくために、コンプライアンスを非常に重要なものと捉えています。消費者とのエンゲージメントを深め、取引先との良好なパートナーシップを維持していく上でもコンプライアンスは経営の基盤です。

当社グループが考えるコンプライアンスとは、事業展開する国・地域の法令や社会規範を遵守するだけでなく、企業理念を具現化するためのグループ行動規範に基づき、従業員一人ひとりが誠実に、高い道德意識や倫理観を持って行動していくことを目指し、この認識のもと各種施策を遂行しています。内部統制の面からも、内部統制報告制度の業務プロセス監査と合わせて、コンプライアンス推進を徹底しています。

多岐にわたるコンプライアンスに関するテーマの中で当社グループが特に重要視しているのが、消費者対応に関連した課題です。小売業の特性上、サプライチェーンはかなりの広範囲に及びます。また自社のプライベートブランドとナショナルブランドの両方を販売するため、消

費者に誤認を与えることがないようにすることや、安全で安心な商品を提供していくためにも、商品の表示管理に関わる一連の業務を、関係部署・取引先と連携しながら徹底して管理しています。

近年は2017年に改正個人情報保護法が施行されるなど、国内外で、個人情報保護強化の潮流があります。私たちも消費者の個人情報を取り扱う事業者として、これまで以上に徹底して個人情報を保護していく必要があると考えています。

推進体制

当社グループでは、ホールディングスのCSR・管理本部法務部がコンプライアンス推進全体を管轄するほか、同部門を事務局とする「リスクマネジメント・コンプライアンス委員会(RC委員会)」を設置しています。委員会は直接出資の4社(ファミリーマート、ユニー、UFI FUTECH、カネ美食品)の管理担当者が四半期に一度報告を行います。ファミリーマート、ユニーは社内の委員会が、UFI FUTECH、カネ美食品は業務本部長が管理を担当しています。

2018年度からはホールディングスの社内役員2名と社外有識者3名で構成される「ガバナンス委員会」を新設し、コンプライアンス全般の状況を審議しています。RC

委員会と連携しながら、グループ全体のコンプライアンス推進を監督していく体制です。

またホールディングスと国内グループ各社では、内部情報提供制度など社内外に窓口を設置し、コンプライアンス違反行為の未然防止や、違反発生時の是正体制を確立しています。情報提供者が不利にならないための規程も設け、厳密に遵守しています。

海外グループ会社についても、各国の法制や特殊性を踏まえた適切な独自の仕組みを構築し、コンプライアンスの徹底を図っています。



コンプライアンス推進教育の実践

当社グループでは、コンプライアンスを徹底するために、取締役や従業員研修を定期的実施しています。また、日頃の業務におけるコンプライアンスの状況などについて、相談や通報できる内部通報制度の仕組みの周知・徹底を図っています。

ファミリーマートでは、毎年研修計画に基づき、2ヶ月に一度テーマを決めてコンプライアンス研修を実施し、また、e-ラーニングによるコンプライアンス研修を年に一度実施しています。コンプライアンス教育を実施した際には、コンプライアンス意識調査としてアンケートも実施し、コンプライアンス意識の浸透度の確認や、改善策の検討に役立てています。また、環境や食品に関する個別の法規制関連の研修にもe-ラーニングを活用して実施しています。

また取引先に対して調査も実施しており、商談時にファミリーマートの従業員が取引先に不当な圧力をかけ

ていないかなど、定期的にチェックを行うことで、取引先との健全で良好なパートナーシップの形成に役立てています。

さらには、グループ行動規範や内部通報制度について記載した、携帯用のカードを全従業員に配布するなどして、日頃からコンプライアンス意識を高めることができるよう取り組んでいます。

ユニーでは、店舗で働く従業員が全体の8割以上を占めることから、コンプライアンス意識を高めるツールとして、読本を配布しています。また早くから取り組んでいるQC活動も、店舗でのコンプライアンスや倫理意識を高めることにもつながっています。コンプライアンス意識の浸透状況は、セルフチェック式で確認しており、研修や取り組みの改善に役立てています。

こうしたグループ各社のコンプライアンス推進の取り組みは、定期的にリスクマネジメント・コンプライアンス委員会に報告されています。

コンプライアンスの状況

研修を通じたコンプライアンス意識の醸成は、健全で強固な企業基盤の構築に不可欠です。その上で実際に発生した違反事例や相談を真摯に受け止め、早急な対応・是正を行うとともに、未然防止につなげています。

2017年3月から2018年2月までの期間には、情報提供が157件で、実際に確認できた違反内容については、予防・再発防止の措置を講じています。

■ 社員ホットライン・お取引先ヘルプラインの運用件数 (2017年度)

不正・違法、ルール違反の疑い	19件
労働契約、就業・労働時間等に関する相談	7件
職場環境、行動・言動に関する相談	67件
ハラスメントの疑い	43件
その他	21件
合計	157件

**ファミリーマート 2017年度
「倫理・法令遵守」カード**

ファミリーマート倫理・法令遵守基本方針

ファミリーマートは、「ファミリーマート基本理念」のもと、次の7原則に基づき、目の内外を問わず、倫理・法令およびその精神を遵守してまいります。

- 健全な企業経営
適正な組織運営を行うとともに、積極かつ公正な企業情報の開示により、健全な企業経営を行います。
- 安全で安心な商品・サービスの提供
商品・サービスの品質管理を徹底するとともに、適正な販売環境を整備します。
- 公正な取引
公正、透明、自由な取引を維持します。また政治、行政との健全かつ正常な関係を築きます。
- 適正な情報管理
事業活動上、知り得た個人情報および機密情報を適正に取扱いします。
- 環境への配慮
地球環境の保護は、企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、自主的、積極的にその活動に取り組みます。
- 職場環境の整備
従業員のゆとりと意欲を実現し、働きやすい職場環境を確保するとともに、従業員の人格、人権を尊重します。
- 社会的責任の果たし
社会の秩序や安全に貢献を与える反社会的勢力および団体との一辺の関係を断絶します。

このカードは、常時携帯してください。

コンプライアンス行動指針 3項目

私たちは、倫理・法令等違反を
「しない」「させない」「見過ごさない」

コンプライアンスに関する行動規範

当社で働く者が、
求められる行動、してはならない行動を
具体的に記載しております。
詳細はインターネットをご覧ください。

「報告・連絡・相談」を心がけましょう！

業務を遂行するうえで、「倫理・法令に違反した行為か?」「そのおそれがある行為か?」と思ったら、まず、「上司」や「行動規範に定める相談先」に相談しましょう。

○
 ・日頃から上司への「ほう・れん・そう」
 ・悪い情報は、早め早めに報告をする

×
 ・聞かれるまで、報告をしない
 ・都合の悪いことを隠す

事件・事故発生時はすぐに連絡を！

倫理・法令違反を解決できなかった場合や上司に相談ができない場合には「内部情報提供制度(ホットライン)」が利用できます。

ファミリーマート 社員携帯用「倫理・法令遵守」カード



ファミリーマート 新入社員向けコンプライアンス研修の様子